

ようこそ！ 中越エリアへ

Chuetsu area

海から山まで

自然いっぱいの中越エリア

大人も子どももゆったりリラックス



「ガルルの丘キャンプ場」と名付けられた場所では、キャンプ&バーベキューが楽しめます(テントサイト使用料1張1泊2,000円)。かわいいツリーハウスもあった!(1棟1泊5~6人用キャンピ、入浴券付10,000円)



「おもしろ自転車」は2人乗りや4人乗りの自転車がある。30分300円(時間内乗り換え自由)。



登ったり、滑ったり、ぶら下がったり、ずっと遊んでいたい大型遊具の「わんぱく広場」。

👉 次のページで紹介してるよ!



ここは茅葺き民家の「自然工作館つばらや」。オリジナル工作を楽しめるのですが、さて長谷川さんたちは何をつくったでしょう?



Niitabi-Chuetsu

10 新潟県立児童館こども自然王国

長谷川さん一家とまず訪れたのは「こども自然王国」。ここは、遊ぶ・学ぶ・食べる・見る・泊まるがゼーンぶ体験できる県立の大型児童館です。森や山、川に囲まれていて空気がキレイ! 同じ敷地内には温泉施設「じよんのび村」もあるんですよ。



読者家族/
新潟市にお住まいの長谷川
聡子さん、栄さん、万桜
(まお)ちゃん、千桜(ちお)
ちゃん



万桜ちゃんがアツという間にレターラックを組み立てました！(料金は1個5000円、他にも体験プログラムがあります)。さあ、飾り付けをどうしようか？



こちら、飾り付けに使う材料。いろいろな色の豆類や小枝、種のようなものがいっぱい。「迷っちゃう！」



新潟県立児童館こども自然王国

柏崎市高柳町高尾30-33

TEL.0257-41-3355

◎開館時間／9:00～17:00

◎休館日／月曜日(祝日の場合は翌日に振り替え。8月は無休)

◎入館料／無料(体験プログラム、おもしろ自転車、温泉利用、宿泊は有料)

◎回有

URL <http://www.kisnet.or.jp/garuru/>

●アクセス／北陸道柏崎ICから十日町方面へ国道252号線で約30分、柏崎駅からじよんのび村直通バスで約60分



万桜ちゃんは「うさぎさん」、聡子さんは「ハート」をデザイン。写真はおかさんの作品。小豆の色がいい感じですね。

「大きな板1枚と小さいの1枚、あとは！」
レターラックづくりは、まず材料集めから。



まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」

北越急行ほくほく線まつだい駅のすぐ目の前の里山に、フィールドミュージアム「農舞台」はあります。世界の芸術家たちの野外アートと、雪・農業によって育まれた松代の文化が楽しめます。

この美味しそうなランチは、「越後まつだい里山食堂」で食べられます！地元食材をふんだんに使った料理は、どれも食べる人の心と身体をすーっと癒してくれます。大きな窓からは豊かな自然とアートも堪能。



多目的室の「農舞台ギャラリー」では「里山アート動物園」が開催されています。さまざまな素材の動物たちの姿におっかなびつくり！



ミュージアムショップには、大地の芸術祭のアートグッズから越後妻有のおいしいお土産や手作り工芸品などがいっぱい。

まつだい雪国農耕文化村センター

- 【農舞台】
- 十日町市松代3743-1 TEL.025-595-6180
- ◎営業時間／10:00～17:00 (8月10:00～18:00)
- ◎休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、12月25日～1月4日
- ◎観賞料／一般500円、小中学生300円、未就学児童無料
- ◎回有
- URL <http://www.noubutai.com>
- アクセス／関越道六日町ICから国道253号線で約40分、北越急行ほくほく線まつだい駅から徒歩2分



「農舞台」の中心となるセンター。田んぼの中の白くてカクカクした建物は、そのものがアートです。



野外アートに興味津々の万桜ちゃん。この作品は、鈴木りんいちさんの「蟻について」。



駅から続く回廊には、カラーバーが並んでいて、松代の人たちの屋号が書いてあります。センターで町の人たちの声が出迎えてくれます。子どもはこれのおもてなしにビックリ！



十日町ステージ越後妻有交流館キナーレ

十日町市本町6丁目 TEL.025-752-0117(代)

◎営業時間/10:00~17:00

(体験工房館・きもの歴史館)

休館日/水曜日(祝日の場合は翌日)

◎回有

●アクセス/関越道越後川口ICから国道117号線で約20分

URL <http://kinare.jp/>



「体験工房館」では、専属のインストラクターさんが織りや染めなども教えてくれます。絞り染めはハンカチやランチョンマット、のれんなど、織り体験はコースター、ランチョンマット、テーブルセーターなどがつくれます。

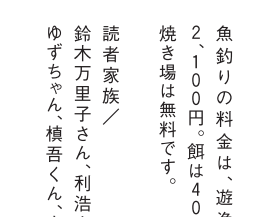


12 十日町ステージ越後妻有交流館キナーレ

「キナーレ」は、十日町地域の特産品「きもの」にちなんだ「着なされ」と、方言の「来なされ(来てください)」にちなんだ名前。今年3年に一度の「大地の芸術祭」のメインステージにもなります。館内には、きもの美しさや楽しさを教えてくれる「きもの歴史館」、こだわりのきものや小物などを扱う「和のセレクトショップ」が出演する「和装芸芸館」、そしていろいろな体験ができる「体験工房館」があります。長谷川さんたちは「体験工房館」で、きもの着付け体験をしました。



ここでは紬や振り袖を着付けてもらい、写真に撮ってもらえます。大人用着物ですが、背丈のある小学生高学年や中学生ならこの通り。おとうさん用もありますよ。(着付け・ヘアセット、デジタルカメラ撮影付き)気軽に着用コースで2,000円。「振り袖着用コース」は、5,000円)



14 **湯沢フィッシングパーク**
アウトドア体験をしたいご家族におすすめなのが「湯沢フィッシングパーク」。初めてでも係の人がちゃんと教えてくれるので、小学生でもイワナやニジマスを釣ることができます。小さいお子さんには、夏休みや週末、祝日にチャレンジできるつかみどりはいかが？ 捕まえた魚は炭火で焼いて塩焼きにして味わえますよ。

魚釣りの料金は、遊漁券(竿、ピック付) 2,100円。餌は400〜700円。魚焼き場は無料です。
読者家族 / 鈴木万里子さん、利浩さん、ももちゃん、ゆずちゃん、楨吉くん、春希くん



湯沢フィッシングパーク
湯沢町大字土樽6191-512
TEL.025-787-3911
◎営業時間/9:00〜17:00(営業期間4月下旬〜11月上旬)
◎定休日/営業期間中無休 ◎印有
●アクセス/関越道湯沢ICから国道17号線を經由して約5分
URL <http://www.yuzawa-fishingpark.com/>



桐の丸いピースがたっくさん詰まった「桐のプール」。子どもたちの遊び場として大人気。カフェコーナーのテラス下にもあり、足を入れると、夏はひんやり冬は温かく感じるんです。

13 **桐子モダン ショールーム**
加茂市は古くから桐の産地です。そこで桐を愛し、その素晴らしさを活かす技術を追求してきた株式会社イシモクさんが、新しいブランドとして提案するのが「桐子モダン」。信濃川に面したショールームは、明るく開放的。桐家具はもちろん、ナチュラルでシンプルな、飽きのこない雑貨もたくさん販売しています。カフェコーナーもとっても居心地がよくて、何度でも来なくなるステキな場所です。



桐子モダン ショールーム
加茂市加茂新田10007-3
TEL.0256-53-4111
◎営業時間/10:00〜20:00
◎定休日/12月31日〜1月1日、8月13日◎印有
●アクセス/北陸道三条燕ICから約15分
URL <http://www.ishimoku.co.jp/furniture/index.html>



15 えちごいずもざき
越後出雲崎天領の里

昔、越後の国では米だけでなく、金や銀、石油までとれたのです。その歴史を垣間みることでできるのは出雲崎町にある道の駅「越後出雲崎天領の里」です。天領出雲崎時代館内には、「妻入り」と呼ぶ出雲崎ならではの街並みが再現されていたり、江戸時代の船が復元されていたりして、タイムスリップ気分が楽しめます。出雲崎が全国の生産量の8割を占める紙風船づくりや時代衣裳の体験もできます（物産館、レストランあり）。



芭蕉像



紙風船



敷地内には夕日の名所「日本海夕日公園」があります。夕日を見つめている銅像は、子どもの頃の良寛さんと松尾芭蕉さん。この先にある観光ブリッジ「夕風の橋」はデートスポットとしても有名。



幼少の良寛

読者家族/
田中里奈(りな)ちゃん、
杏奈(あんな)ちゃん、
祐衣(ゆい)ちゃん、
悠貴(ゆうぎ)くん、
幹人(みきと)くん

越後出雲崎天領の里

出雲崎町大字尼瀬6-57

TEL.0258-78-4000

◎開館時間/9:00~17:00

◎休館日/第1水曜日(5月、8月は無休)、年末年始

◎入館料/大人(高校生以上)500円、

子ども(小中学生)400円 ◎回有

*紙風船づくり(1人200円)、時代衣裳体験(1人300円、写真付き500円)

URL <http://www.shidax.co.jp/tenryo/>

●アクセス/北陸道西山ICから約20分



16 うまみち森林公園

アウトドア山派の方へ、新潟の読者がおすすめするキャンプ場が「うまみち森林公園」。森の中で、小鳥の声で起きる朝、虫の声に耳を傾ける夜、まちでは味わうことのできない自然ならではの贅沢な時間を子どもたちにも味あわせてあげたいですね。オートキャンプやテントも楽しいですが、メルヘンチックなツリーバンガローも喜ばれそうです。



うまみち森林公園

長岡市与板町本与板754番地 TEL.0258-74-3010

◎開設期間/4月26日~11月上旬 ◎休館日/12月1日~3月31日 ◎総合案内施設の開館時間/9:00~17:00

◎料金/入場料1泊2日200円・日帰り100円 オートキャンプサイトAC電源付き1泊2日5,000円・日帰り3,000円、バンガロー(ツリーハウス型、AC電源付き)1泊2日6,000円・日帰り3,500円)、キャンプサイト無料(テント持ち込み料1張1,000円)他 ◎回有 URL <http://www.kizuna-camp.com/>

●アクセス/関越道長岡ICより約20分

17 和島オートキャンプ場

海水浴場もすぐそばにあるオートキャンプ場。展望台からは日本海が一望、佐渡も見ることが出来ます。オートキャンプ以外にもバンガローやテニスコート、子どもたちが遊べる遊具、釣り場などもあります。



和島オートキャンプ場

長岡市両高1番地 TEL.0258-74-3010

◎開設期間/4月26日~11月上旬 ◎休館日/12月1日~3月31日 ◎総合案内施設の開館時間/8:30~17:00

◎料金/入場料一般・高校生1泊2日200円・日帰り200円、小中学生1泊2日100円

オートキャンプサイト(A区画、AC電源付き1泊2日6,000円・日帰り2,000円、B区画1泊2日4,500円・日帰り1,000円)、フリーサイト1泊2日3,000円・日帰り1,000円他 ◎回有

URL <http://www.kizuna-camp.com/>

●アクセス/関越道長岡ICより約40分



今年(9月9日(水)・10日(木))
毎年この日に行われる片貝まつりは、浅原神社の秋季例大祭です。神社へのお賽銭がわりに花火を打ち上げたのがはじまりと言われています。一番の目玉はギネスブックでも認定された世界一の大きさを誇る四尺玉の大花火。夜空に輝く大輪の花に酔いしれてみてはいかがでしょうか？

開催場所／小千谷駅から近い信濃川の河川敷

小千谷観光協会

URL <http://www.ojiyakanko.com/>
TEL.0258-84-3900 (片貝町煙火協会)

●アクセス／小千谷ICから約5分

かたがひ
片貝まつり世界一四尺玉花火(小千谷市)

今年(8月1日(土)～3日(月))
期間中、長岡市内では灯籠流しや御神輿、フリーマーケットなどさまざまな催し物で盛り上がりますが、なんといっても見逃せないのが最終日の大花火大会です。毎年80万人の観光客が集まります。

開催場所／長岡市内、大花火大会は信濃川の長生橋下流河川敷

長岡まつり協議会事務局

TEL.0258-39-2221

URL <http://nagaokamatsuri.com/>

●アクセス／長岡ICから約20分

長岡まつり(長岡市)



今年(7月26日(日)～9月13日(日))
里山の美しい景色を舞台に、3年に1度開かれる国際アート展が2009年も開催されます。高齢化・過疎化がすすむ地域をアートで再生、活性化しようという試みが10年前に始まりました。地域と都市、アーティストと里山、若者と老年寄りの交流・協働の中から生まれたアートがみなさんを迎えてくれます。この期間ならではのプロジェクトもたくさんありますので、お見逃しなく！

開催地／越後妻有地域(十日町市、津南町)

パスポート／一般前売3,000円、当日3,500円、大学生・シルバー前売2,000円、当日2,500円、小中高生前売500円、当日800円

大地の芸術祭実行委員会事務局

TEL.025-757-2637

「大地の芸術祭の里」総合案内所

TEL.025-595-6688

URL <http://www.echigo-tsumari.jp/>

●アクセス／各会場へのアクセスは、公式サイトをご覧ください

えちごつしまり
大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ2009(十日町市、津南町)